

5
ダニエル
聖徒伝 214

へりくだって 主に仕えよう

ダニエル書5章

バビロニアの滅亡

アウトライン

0. イントロダクション

- I. 狂宴のさなかに 5章1～9節
- II. 王に呼ばれて 5章10～16節
- III. 文字の解明と結末 5章17～31節
- IV. まとめと適用

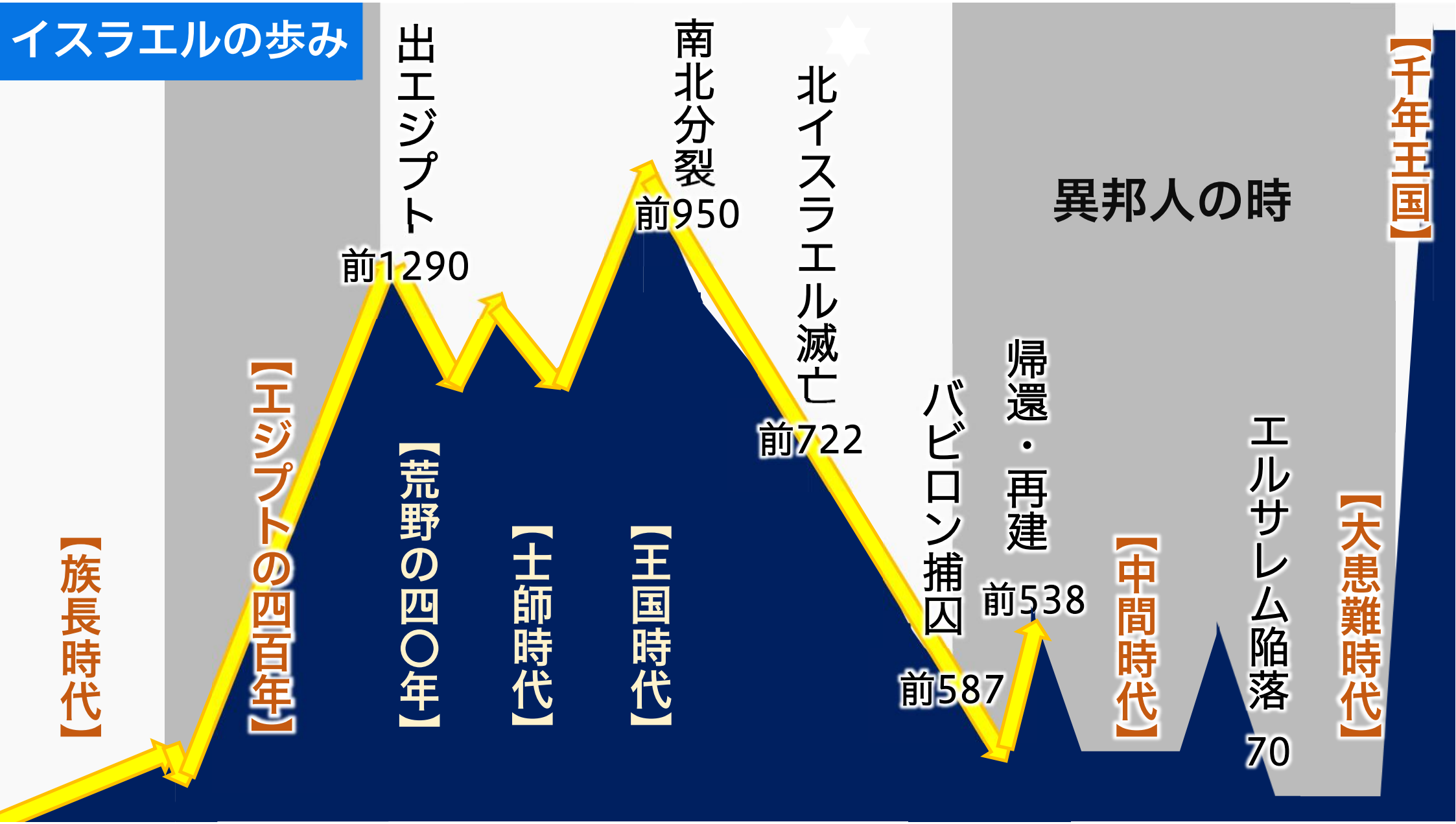
へりくだって主に仕えよう



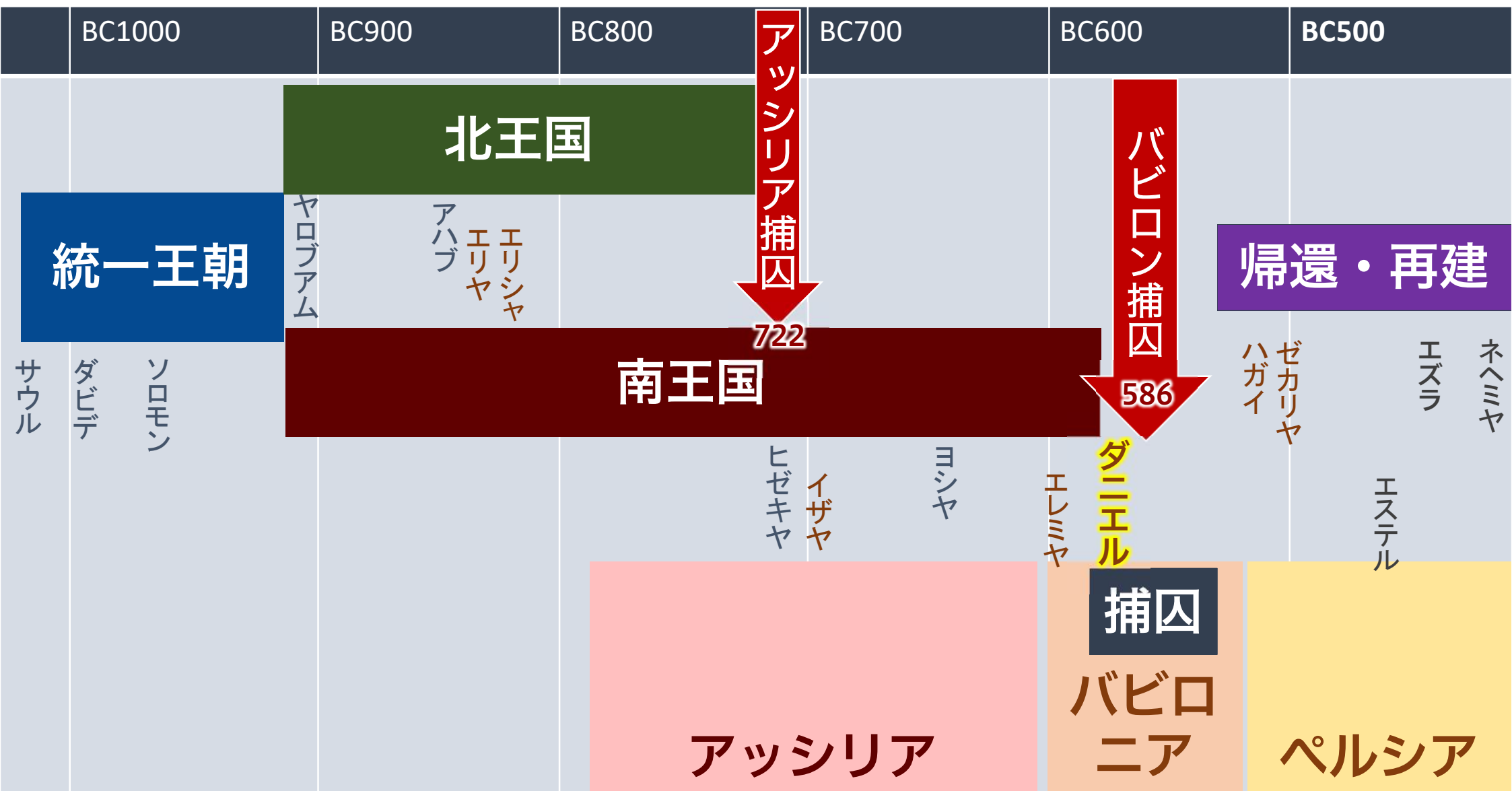


0. イントロダクション

イスラエルの歩み

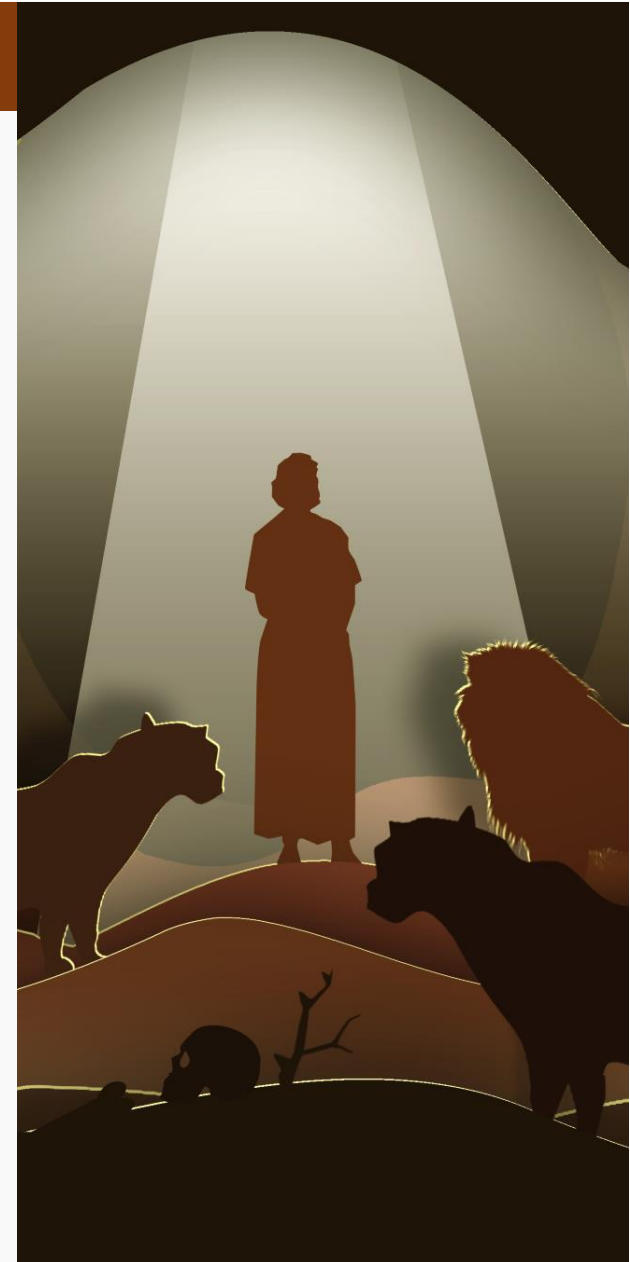


イスラエル王国史



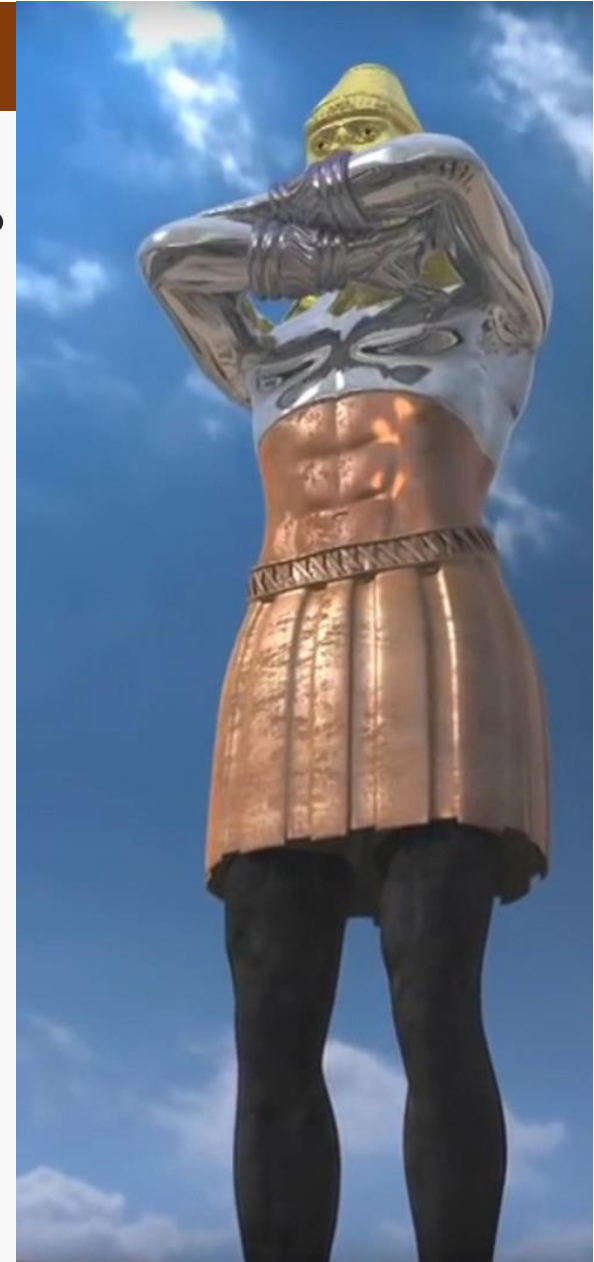
ダニエル書について

- 著者 …ダニエル(神は我が裁き主)
- 場所 …バビロン
- 時代 …バビロン～ペルシャまで(約70年間)
- 構成 …1～6章は歴史、7～12章は預言が中心
- 言語 …1章 ヘブル語
…2～7章 アラム語(異邦人が対象)
…8～12章 ヘブル語(イスラエル対象)

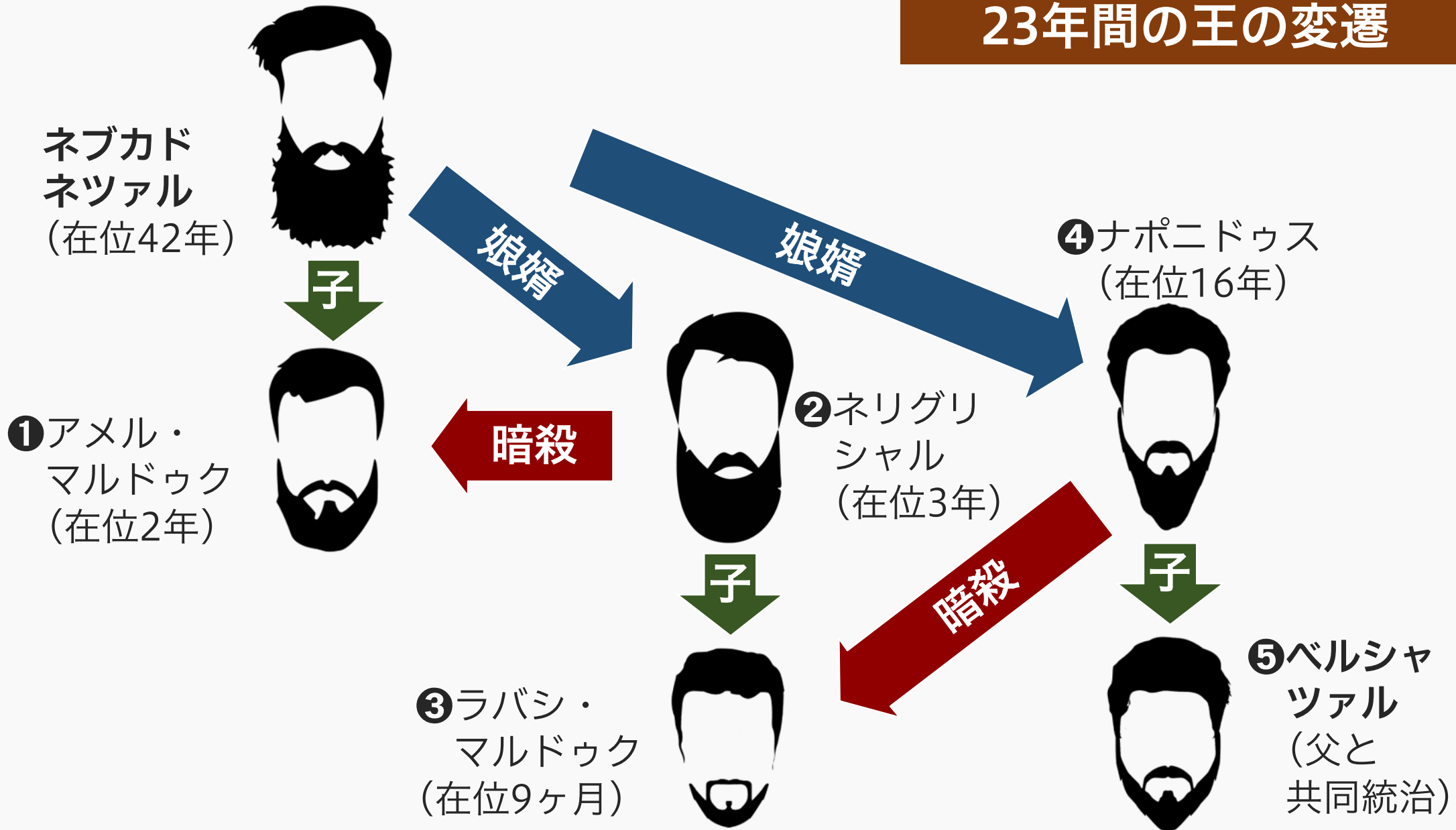


前回までのあらすじ

- 捕囚民から、ダニエルと3人が選出。王に仕えた。
- ネブカドネツアル王の夢を解き明かしたダニエルは、バビロンで高位に就く。
- 王が建てた金の像への礼拝を拒んだ3人は、燃えさかる炉から無傷で生還。
- 夢で見た警告通り、7年間、奈落を味わった王は、イスラエルの神をほめたたえた。
…それから23年後



23年間の王の変遷





Ⅰ. 狂宴のさなかに ダニエル書5章1～9節

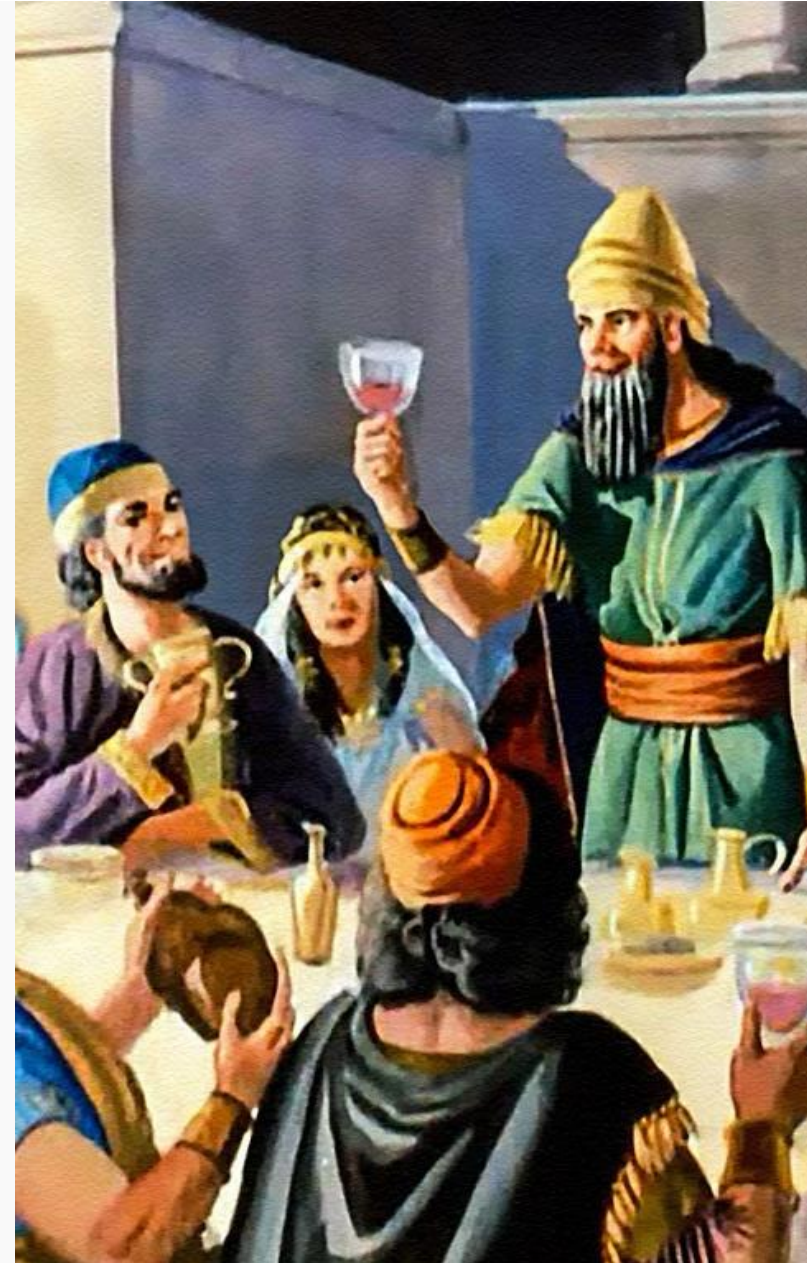
復元されたバビロン

狂宴 大宴会 ダニエル5:1～2

ベルシャツアル王は、千人の貴族たちのために大宴会*を催し、その千人の前でぶどう酒を飲んでいました。

*偶像礼拝を中心とした狂乱騒ぎの大宴会

■ 王国は斜陽。ペルシャの脅威が迫る中、父王は月神礼拝にのめり込み、ベルシャツアルは、大宴会で虚勢を張っていた。



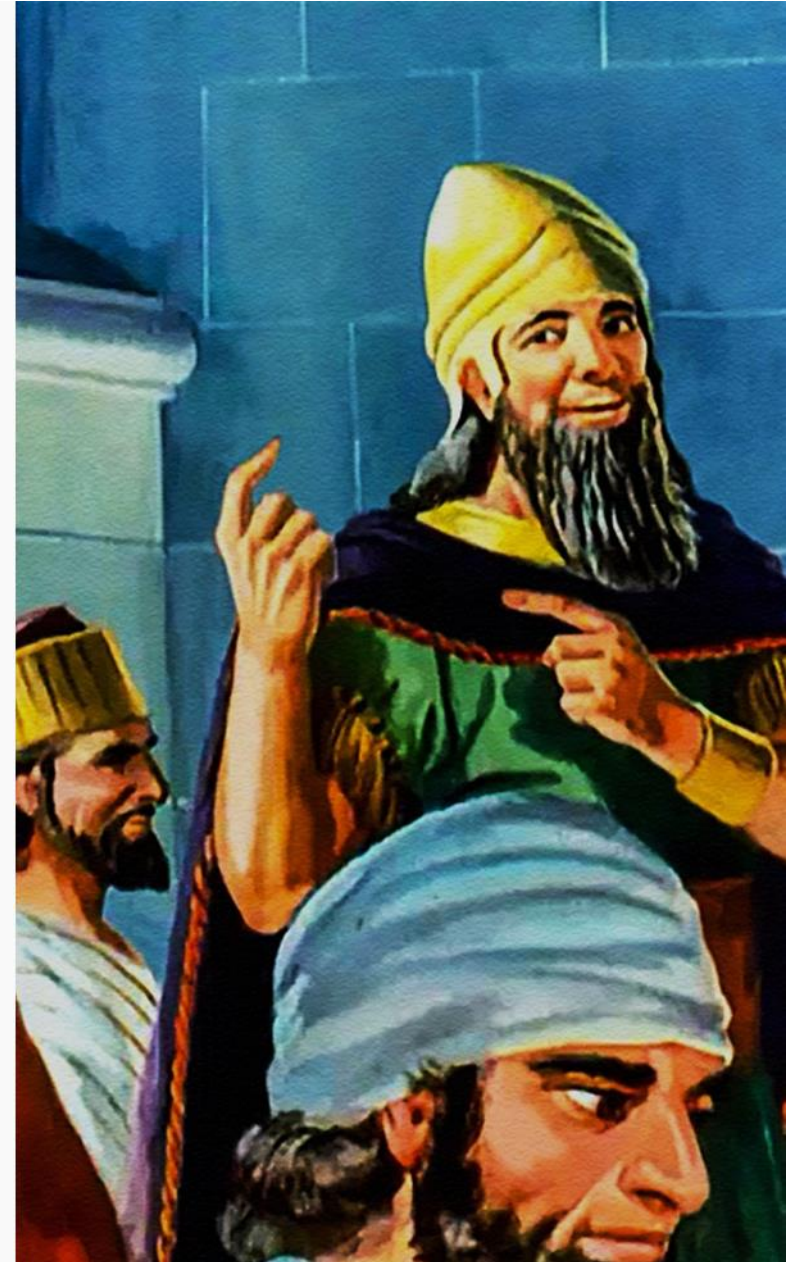
狂宴 神殿の器 ダニエル5:2

ベルシャツアルは、酒の勢いに任せて、父*
ネブカドネツアルがエルサレムの宮から持ち
出した金や銀の器*を持って来るように命じ
た。王とその貴族たち、および王の側室たち
や侍女たちがその器で飲むためであった。

*祖父以前の子孫も指す

*偶像の代わりに略奪してきたもの

■ イスラエルの神に対する明白な陵辱行為



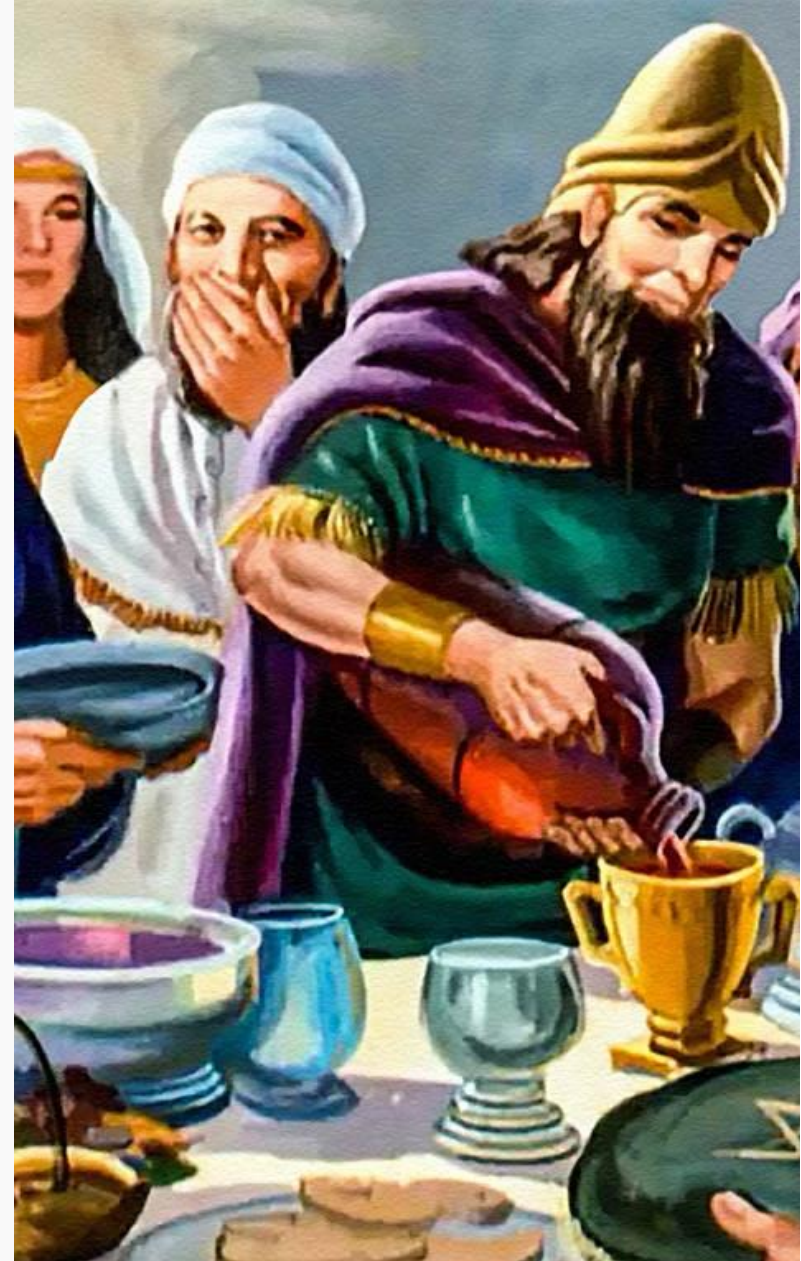
狂宴 金の器 ダニエル5:3～4

そこで、エルサレムの神の宮の本殿から持ち出した金の器が運ばれて来たので、王とその貴族たち、および王の側室たちや侍女たちはその器で飲んだ。

彼らはぶどう酒を飲み、金、銀、青銅、鉄、木、石の神々*を賛美した。

*知る限りの偶像の神々を賛美していた

➡皮肉を込めた描写



顕現 人間の手の指 ダニエル5:5～6

ちょうどそのとき、人間の手の指が現れ、王の宮殿の塗り壁の、燭台の向こう側のところに何かを書き始めた。王は、何かを書くその手の先を見ていた。

すると、王の顔色は変わり、いろいろと思い巡らして動揺し、腰の関節はゆるみ*、膝はがたがた震えた。

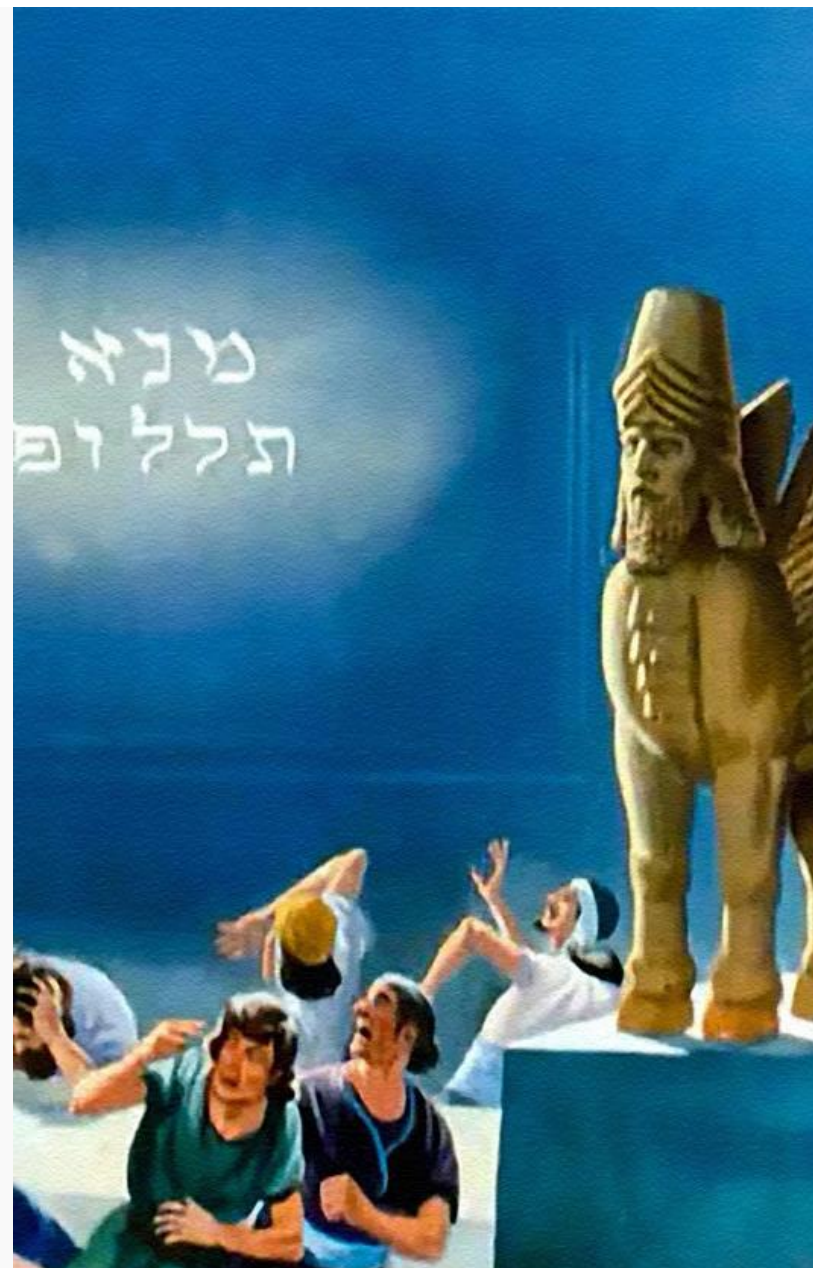
*性欲も一気に失せた



布告 王の命令 ダニエル5:7

王は大声で叫び、呪文師、カルデア人、占星術師たちを連れて来させた。王はバビロンの知者たちに言った。「だれでも、この文字を読んでその意味を私に示す者には、紫の衣を着せて首に金の鎖をかけ、この国の**第三の権力***を持たせる。」

***①**ナポニドゥス、**②**ベルシャツアルの次
→父は、月神シンの礼拝のために不在



布告 知者たち ダニエル5:8

そのとき王の知者たちがみな入って来たが、彼らは、その文字を読むことも、王にその意味を告げることもできなかった。





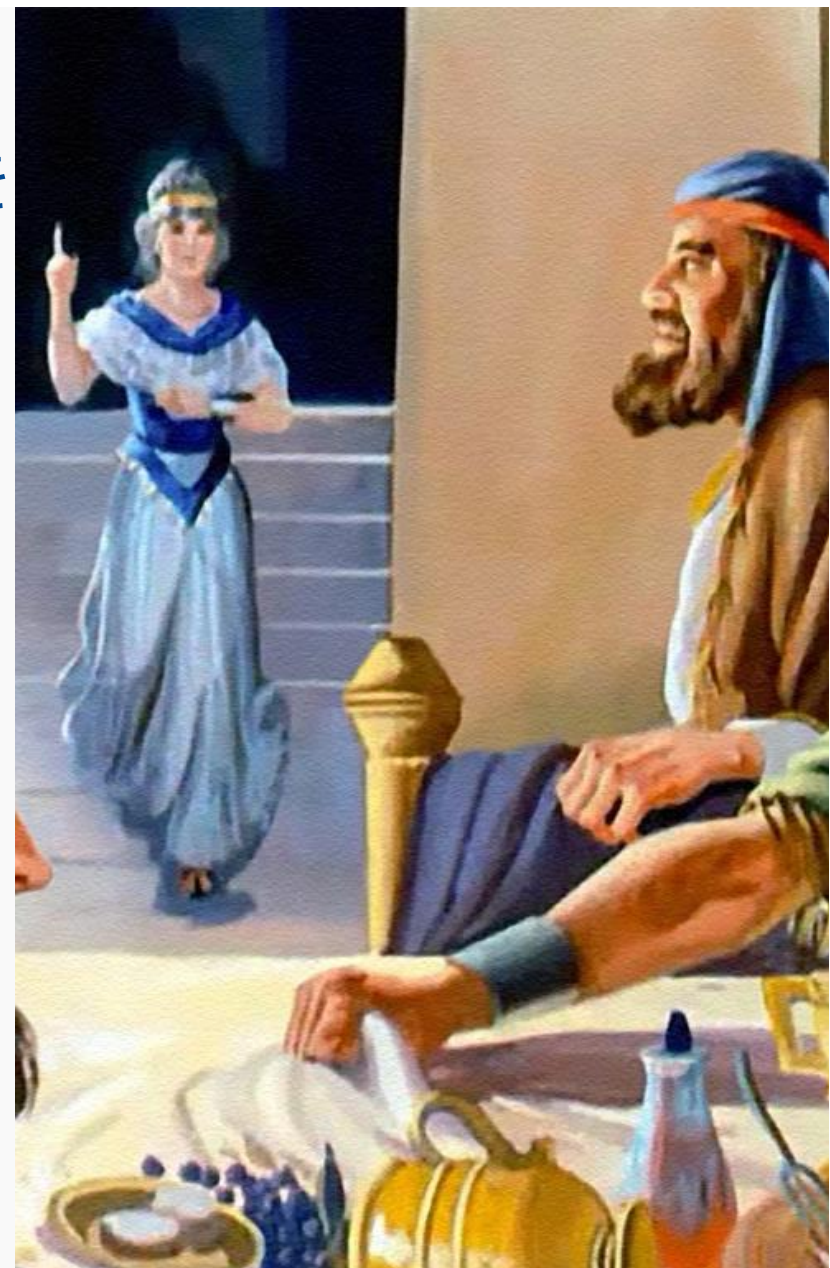
II. 王に呼ばれて

ダニエル書5章10～16節

進言 王母 ダニエル5:10

王母*は、王とその貴族たちとのやり取りを聞いて、宴会の広間に入って来た。王母は言った。「王よ、永遠に生きられますように。いろいろと思い巡らし動揺してはいけません。顔色を変えてはなりません。」

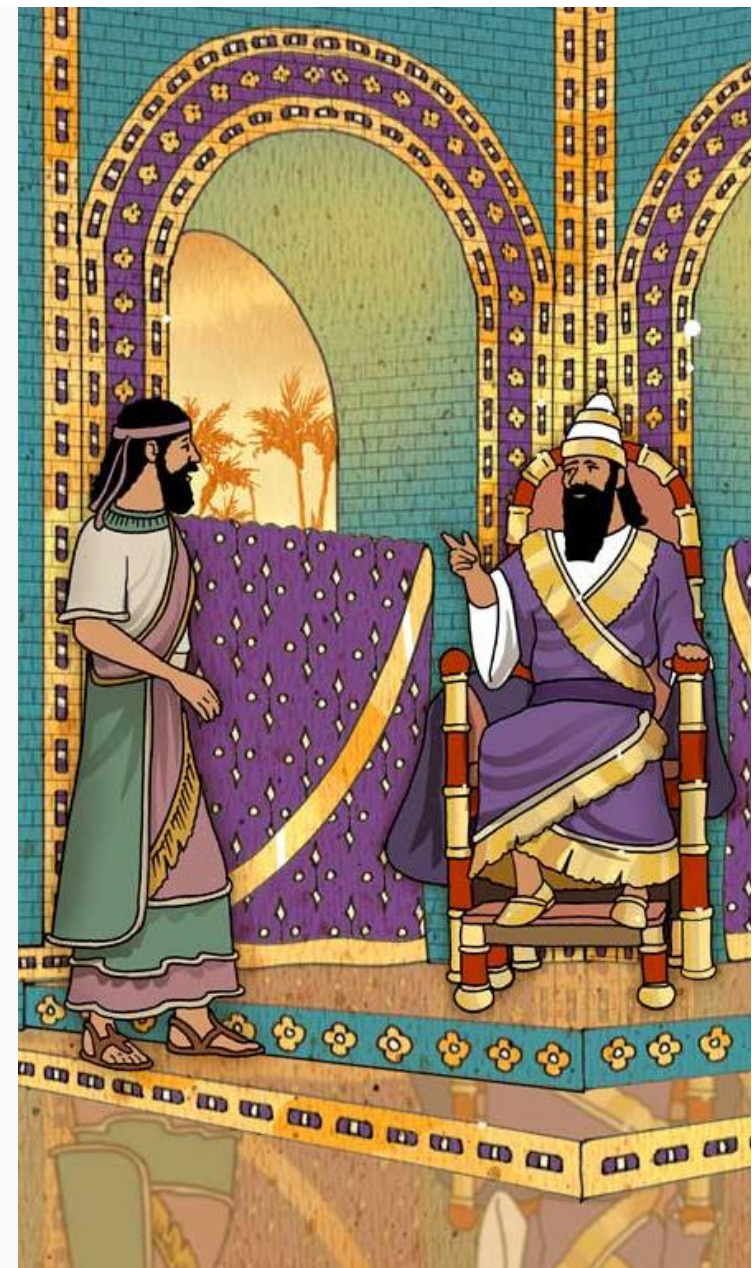
*ネブカドネツアル王の娘



進言 神の霊の宿る人 ダニエル5:11

「あなたの王国には、聖なる神の霊の宿る人*がいます。あなたの父上の時代、彼のうちに、才気と聡明さと、神々の知恵のような知恵があることが分かりました。あなたの父上であるネブカドネツアル王は、彼を呪法師、呪文師、カルデア人、占星術師たちの長*として立てられました。」

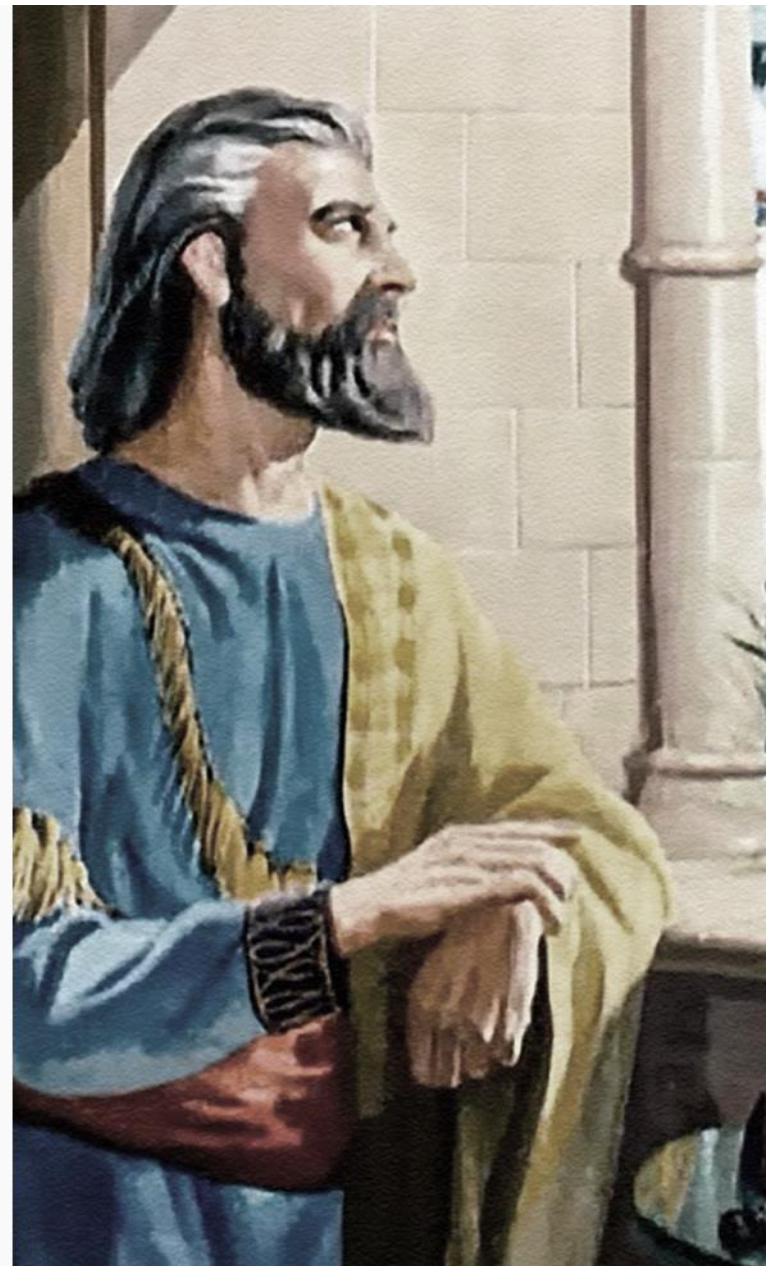
*王母の認識は、あくまで神々に仕える者



進言 招集 ダニエル5:12

「王がベルテシャツアルと名づけたダニエルのうちに、夢を解き明かし、謎を解き、難問を解くすぐれた霊と知識と聡明さがあることが分かっていますので、今、ダニエルを召して、その解き明かしをさせましょう」

- ダニエルは、この時80歳前後。
理由は不明だが、閑職となっていた。

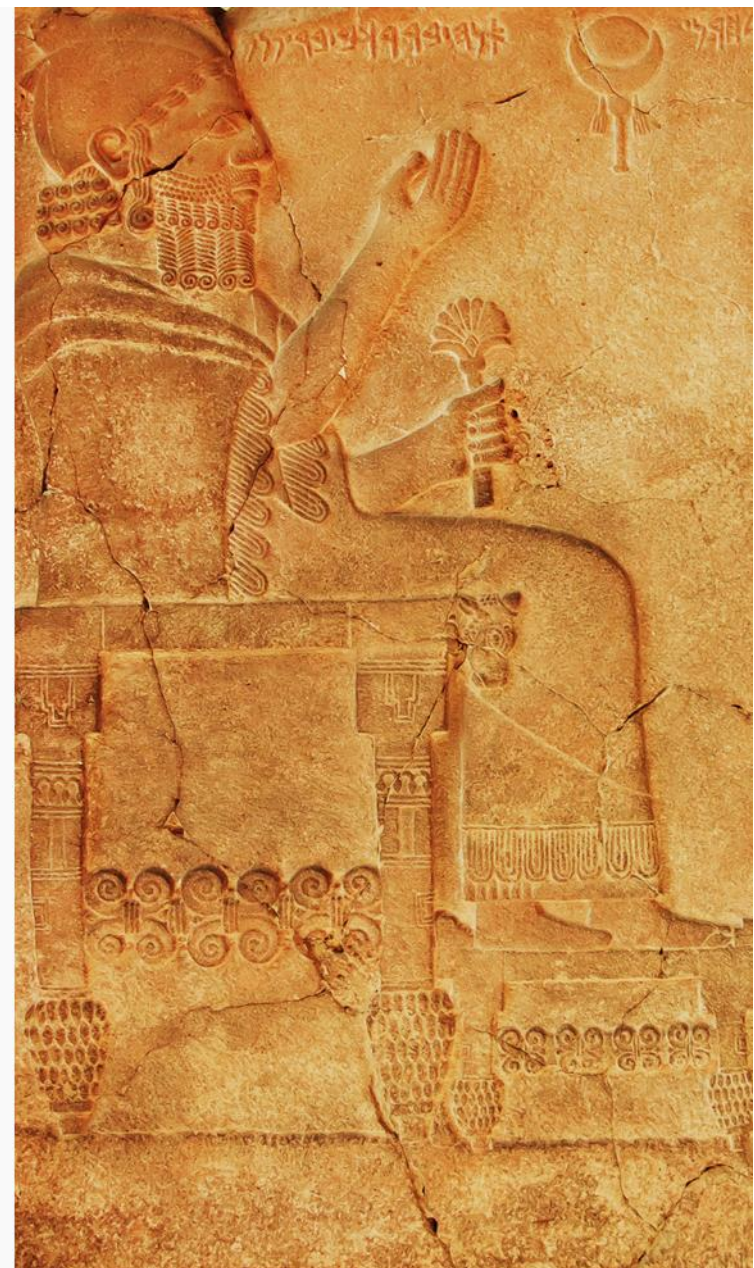


招集 王の前に ダニエル5:13～14

そこで、ダニエルが王の前に連れて来られた。王はダニエルに対して言った。「私の父である王がユダから連れて来た、ユダからの捕虜の一人ダニエルとはおまえのことか。

おまえのうちには神々の霊が宿り、また、おまえのうちに、才気と聡明さとすぐれた知恵があることが分かったと聞いている。

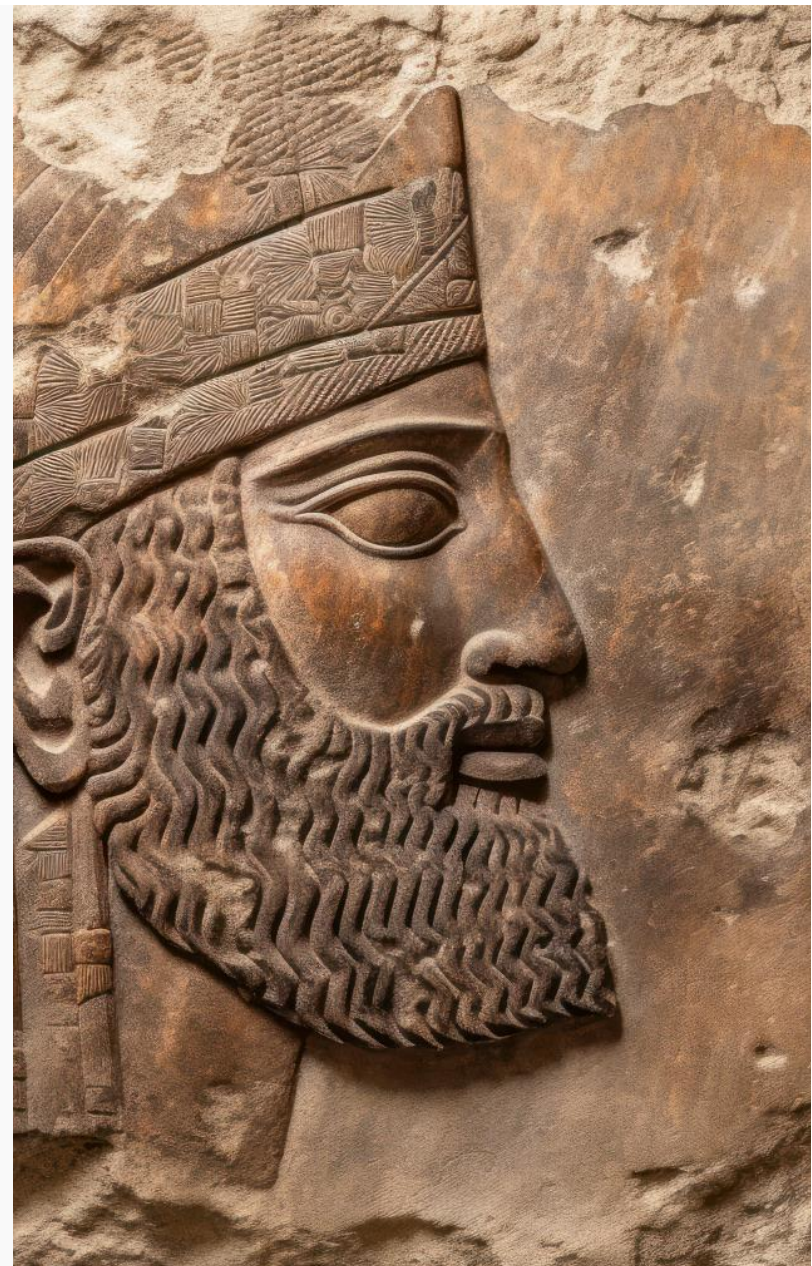
ところで、私は、知者、呪文師たちを私の前に召し、この文字を読ませて、その意味を私に告げさせようとしたが、彼らはそのことばの意味を示すことができないでいる。」



招集 依頼と報酬 ダニエル5:16

「しかし、おまえは解釈することができ、難問を解くことができる」と聞いた。今、もしおまえが、その文字を読み、その意味を私に告げることができたなら、おまえに紫の衣*を着せて首に金の鎖*をかけ、この国の第三の権力を持たせよう。」

*王からの最大の権威、栄誉のしるし





Ⅲ. 文字の解明と結末

ダニエル書5章17～30節

バビロン周辺

解明 返答 ダニエル5:17~18

そのとき、ダニエルは王の前で答えた。

「贈り物をご自分で取っておき、報酬はほかの人にお与えください。しかし私は、その文字を王のために読み、その意味を告げましょう。」

王よ。いと高き神は、まさしくあなたの父上ネブカドネツアルに、国と偉大さと栄光と威光をお与えになりました。」



解明 思いのままに ダニ5:19

神が父上にお与えになった偉大さによって、諸民族、諸国民、諸言語の者たちはことごとく、父上の前に震えおののきました。彼は思いのままに人を殺し、思いのままに人を生かし、思いのままに人を高め、思いのままに人を低くしました。

- 歴史に並ぶ者のない王として
絶大な力を振るったのが
ネブカドネツアル王



解明 王の回心 ダニエル5:20

こうして彼は、心が高ぶり、霊が頑なになり、高慢にふるまったので、その王座から引きずり降ろされ、栄光を取り上げられました。

そして、人の中から追い出され、心は獣と等しくなり、野ろばとともに住み、牛のように草を食べることになり、からだは天の露にぬれて、ついにこう知るようになりました。いと高き神が人間の国を支配し、みこころにかなう者をその上にお立てになる*のだと。

*地上の権威はすべて、唯一の神が与えたもの



解明 王の罪 ダニエル5:22～23

その子であるベルシャツアル王よ、あなたはこれらのことをすべて知っていたいながら*、心を低くしませんでした。

それどころか、天の主に向かって高ぶり、その宮の器を自分の前に持って来させ、あなたと貴族たちとあなたの側室や侍女たちは、それを使ってぶどう酒を飲みました。

*聞いて知っていて犯したのが王の罪



解明 命を握る神 ダニエル5:23～24

あなたは、見ることも、聞くことも、知ることもできない銀、金、青銅、鉄、木、石の神々を賛美しました。しかしあなたの息をその手に握り、あなたのすべての道をご自分のものとされる神*を、あなたはほめたたえませんでした。

そのため、神の前から手の先が送られて、この文字が書かれたのです。

*王の命も生涯の歩みも、
すべて唯一の神の御手の内にある。



解明 治世の終わり ダニエル5:25～26

その書かれた文字はこうです。『メネ、メネ、テケル、ウ・パルシン*。』

そのことばの意味はこうです。『メネ*』とは、神があなたの治世を数えて終わらせた*ということです。

*“ミナ、シェケル、ウ・パルシン”

➡いずれも重量の単位

*動詞としても理解可…“数えた、定めた”



解明 帝国の終焉 ダニエル5:27～28

『テケル*』とは、あなたが秤で量られて、目方の足りないことが分かったということです。

『パルシン*』とは、あなたの国が分割され、メディアとペルシア*に与えられるということです。」

*“量られた” * “分割する”

*近縁の民族 →後にペルシアが主流に

■この事件の背後で、ペルシアが迫っていた!!



裁き バビロン陥落 ダニエル5:29～31

そこでベルシャツアルは命じて、ダニエルに紫の衣を着せ、金の鎖を首にかけさせ、彼がこの国の第三の権力者であると布告させた。

その夜、カルデア人の王ベルシャツアルは殺された。そして、メディア人ダレイオスが、およそ六十二歳でその国を受け継いだ。

- 川からの流れを妨げ、堀の水位を下げ、易々と難攻不落のバビロンを攻め落とした。

一晩にしてペルシアの時代に





IV. まとめと適用

へりくだって主に仕えよう

バビロンの遺跡

新バビロニア帝国の衰退と滅亡

- ネブカドネツアル王以降は、混沌と衰退の一方。
唯一の神に立ち返る王もなく、権威も低下するばかりだった。
- バビロン捕囚の頃が最盛期、滅亡と共に捕囚も終了。
→ イスラエルへの裁きの器として起こされ、用いられた。
- 裁きの器には、何より主に従うことが求められる。
絶大な力と権威を与えられながら、不信仰で滅びを招いた。

ベルシャツアル王の罪と罰

「あなたはこれらのことをすべて知っていながら、心を低く
しませんでした。ダニエル5:22」

- ネブカドネツアル王への裁きと回心、神の権威を知っていた。
- 知りながら、宮の器で飲み、偶像をたたえた。
- 傲慢のゆえに、主は王の治世を終わらせ、王国を滅亡させた。

主の裁きの時は来る

- 怒るに遅い憐れみの神は、裁きを曖昧にされることもない。
➔ 時が来れば速やかに、しかるべき裁きを下される。
- 公正な神は、必ず、救いに預かる機会を与えられる。
➔ 裁きの日に、言い逃れの余地は誰にもない。
- 福音を信じた、その救いは失われまいとしても、
犯した罪に悔い改めがないなら、裁きは避けられない。
➔ 御座の裁きでは、個々の報酬が明らかにされる。

世の終わりの裁きの基準

- 永遠の運命を決めるのは、主の福音に信頼したかどうか。
- 信者の報酬*を決めるのは、どれだけ主に従ったか。
(*千年王国で任される領地、働き)
- 大艱難時代の、主イエスの再臨後の「羊と山羊の裁き」では、異邦人の、イスラエルに対する取り扱い。

主は明確な基準をもって すべての人を裁かれる

知っていながら行わない罪

■ヤコブの手紙4:13～14

「今日か明日、これこれの町に行き、そこに一年いて、商売をしてもうけよう」と言っている者たち、よく聞きなさい。

あなたがたには、明日のことは分かりません。あなたがたのいのちとは、どのようなものでしょうか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それで消えてしまう霧です。

*主に従うより、私利私欲が第一となっている者たちへの警告

知っていながら行わない罪

■ヤコブの手紙4:15~17

あなたがたはむしろ、「主のみこころであれば、私たちは生きて、このこと、あるいは、あのことをしよう」と言うべきです。

ところが実際には、あなたがたは大言壮語して誇っています。そのような誇りはすべて悪いことです。

こういうわけで、なすべき良いことを知っていながら行わないなら、それはその人には罪です。

学びには、さらなる応答の責任が伴うと覚えよう

クリスチャンのなすべきよいこと

「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。… 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。ヤコブ4:8,10」

- 主に近づく道は、御言葉、祈り、適用(実践)。日々の繰り返し。
- 信仰が成長するほどに、打ち砕かれ、へりくだらされる。

へりくだった者を、主は高く上げられる
砕かれた心に、主の恵みが染み渡っていく

★ 主に用いられやすい器に ★

- 絶大な権威と富を与えられた主を、拒んで裁かれたバビロン。
→ 私たちは御言葉の知識と権威に伴う責務に応えているか？
- 用いられるのも、力を与えられるのも主ご自身。
私には何も無い。力をくださいと、主に求めよう。
- 主に従えば、必ず打ち砕かれて、へりくだらされていく。

主に用いられやすい器へと 日々造り変えられていこう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

か おお うつわ わたし しゅもち
欠け多き器である私を、主が用いてくださいます。

わたし あわれ ちから あた
私を憐れみ、力を与えてくださいます。

う くだ こころ しゅ めぐ し わた
打ち砕かれた心に、主が恵みを染み渡らせてくださいます。

しゅ まえ もの しめい つかわ
主の前にへりくだる者として、さらなる使命に遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」